

2023年度後期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2023年度後期				2022年度後期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	59	59	289	269	65	65	308	292
非常勤	52	50	81	77	50	48	79	76
総合計	111	109	370	346	115	113	387	368

※看護学部実習科目については、別アンケートを実施しています

【属性】

アンケートに答えた学生（延べ回答者数）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	647名	12.9%
	公共政策学科	513名	10.2%
経営学部	スポーツ経営学科	2298名	45.9%
	情報メディア学科	1018名	20.3%
看護学部		535名	10.7%
計		5011名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1年次	1991名	39.7%
2年次	1664名	33.2%
3年次	984名	19.6%
4年次	332名	6.6%
5年以上	40名	0.8%
計	5011名	100.0%

学部学科別人数・回答率			
学 科	受講人数	回答人数	回答率
経済学科	1330名	647名	48.6%
公共政策学科	1279名	513名	40.1%
スポーツ経営学科	5034名	2298名	45.6%
情報メディア学科	2645名	1018名	38.5%
看護学部	1863名	535名	28.7%
計	12151名	5011名	41.2%

<p style="text-align: center;">延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率</p> <p style="text-align: center;">5,011／12,151＝41.2%（2022年度後期：33.4%）</p>
--

【授業アンケートの実施率と回答率】

後期は通年科目に関するアンケート実施があり、前期と傾向が異なることも考えられるため、実施率及び回答率については、前々回（前年度後期）及び前回（今年度前期）の数値と比較することとする。

○教員数でみた授業アンケート実施率は98.1% (=109/111)で、昨年度後期98.3%とほぼ同じ水準である（ただし前回（今年度前期）は100.0%の実施であった）。なお、専任教員は100.0%、非常勤教員は96.1%の実施率であり、ほとんどの教員に授業アンケートの依頼について協力いただいたことがわかる。

○講義数でみた授業アンケート実施率は93.5% (=346/370)で、昨年度後期の95.1%、前回（今年度前期）97.3%を下回った。うち、専任教員の講義のアンケート実施率は93.0% (=269/289)、非常勤教員の講義については94.9% (=77/81)である。

○学生の回答率（=延べ回答者数/延べ受講者数）については41.2%であり、昨年度後期33.4%から回答率は向上したものの、前回（今年度前期）50.6%と比較すると回答率が下がっている。

○学部学科別の回答率は、経済学科48.6%、公共政策学科40.1%、スポーツ経営学科45.6%、情報メディア学科38.5%、看護学科28.7%となっており、全体の5割を超える学科はない状況にある。なお、前年度後期及び今年度前期の回答率は、経済学科が31.4%（前年度後期）、54.7%（今年度前期）、公共政策学科が34.0%、44.2%、スポーツ経営学科が30.4%、53.9%、情報メディア学科が33.8%、48.8%、看護学科が42.7%、46.9%であったことから、昨年度後期と比較すると、看護学科以外の各学科は回答率が上昇しているものの、前回（今年度前期）と比較するとすべての学部学科で回答率が下がっている。

○アンケートの収集方法がオンラインになってから、教員による協力と共に、教務課より学生ポータルを通じたアンケート依頼を実施してきているものの、学生の回答率を引き上げるため、引き続き、教授会やメール等を通じた教員への協力依頼及び学生ポータル等を通じたアンケートの回答依頼を継続していくことが必要である。

授業アンケートの各設問への回答状況においては、「2023年度後期授業アンケート全体集計」を参照いただきたい。以下、一部に前回（今年度前期）との比較を示し補足する。

設問1.【板書の書き方・パワーポイント・講義資料は分かりやすいか（読みやすいか）】

○「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は74.8%、「とても分かりにくい」、「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は9.3%であった。前回アンケートの結果では、「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は72.5%、「とても分かりにくい」、「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は11.5%であったことから、肯定的な評価が増え、否定的評価が減っていることが分かる。

○学科別では、肯定的回答は、経済学科73.0%、公共政策学科80.7%、スポーツ経営学科74.8%、情報メディア学科78.4%、看護学科69.9%で、否定的回答は、経済学科10.1%、公共政策学科8.0%、スポーツ経営学科9.0%、情報メディア学科7.8%、看護学科14.3%である。

○記述回答からは「スライドを使ってくれたので分かりやすかった」「板書だけでなく毎回参考資料が配布されていたので分かりやすく理解出来た」「レジュメが細かく書かれていて

わかりやすい」「穴埋め式の資料で授業をより聞く姿勢で臨むことが出来た」といった肯定的な感想が目立っている。一方、「板書をもう少し大きな字で書いてほしい」「ホワイトボードの場合は濃い色や太字を使うなどしてほしい」「板書を消すのが早い」との意見が一部見られる。

設問2.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は78.3%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計9.0%を上回っている。なお、前回アンケートでは、「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は74.7%、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計が9.8%であり、肯定的な回答割合が増え、否定的な回答割合が減っている。

○学科別では、「とても分かりやすい」、「やや分かりやすい」とする肯定的な回答の合計は、経済学科74.9%、公共政策学科84.0%、スポーツ経営学科79.8%、情報メディア学科80.0%、看護学科68.2%であり、「とても分かりにくい」、「やや分かりにくい」とする否定的回答の割合の合計は、経済学科10.7%、公共政策学科7.2%、スポーツ経営学科7.4%、情報メディア学科8.3%、看護学科16.4%である。

○記述回答からは「資料等に基づく丁寧な説明があった」「説明が具体的でコツを掴みやすかった」「スライドと先生の話がマッチしていて納得できた」「レジュメや説明が分かりやすいだけでなく、難しかったところなどは質問すれば丁寧に教えてもらえた」といった肯定的な感想が多く見られる。話し方そのものに加え、授業資料等に関する丁寧な説明や質問への回答、また課題等へのフィードバックに関する内容が目立っている。一方、「早口である」「声が小さい」「マイクを通して聞こえにくいことがあるので、ゆっくりはっきりと話してほしい」とする意見も一部に見られる。受講生の意見は、受講人数や受講教室等の環境条件に左右されることがあるが、学生の理解を確認しながら授業運営につとめていくことが求められる。

設問3.【授業に集中するための環境（私語、遅刻、途中退室が無い状況等）は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は82.4%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計は4.8%であった。前回アンケートでは「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は80.5%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計は5.4%であり、前回より改善の傾向が読み取れる。

○学科別では、肯定的回答は、経済学科81.2%、公共政策学科86.5%、スポーツ経営学科82.9%、情報メディア学科89.0%、看護学科83.2%で、否定的回答は、経済学科5.3%、公共政策学科3.7%、スポーツ経営学科4.3%、情報メディア学科6.8%、看護学科3.6%である。

○記述回答からは、「静かな空間でとても心地よかった」「私語がないように注意してくれるので安心して受講できた」といった肯定的な感想が目立っているが、一部に「私語を注意してほしい」といった意見もみられた。

設問4.【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

○学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は6.6%であり、この値は前回アンケート7.7%から若干の改善がみられる。複数回答可の具体的な確認方法においては、「小テストや課題」30.4%、「前回の振り返り」35.4%を選択した回答が多く、これについては前回同様の傾向である。

○学科別では、「確認されていない」と回答した割合が、経済学科7.7%、公共政策学科4.3%、スポーツ経営学科6.6%、情報メディア学科5.1%、看護学科10.1%となっている。

○記述回答においても、小テストの実施や課題については、科目の特性に応じた具体的な実施内容にも触れて高評価とする意見が目立った。さらに、小テストや課題について丁寧な振り返りを伴うフィードバックや、小テストを期末テストの対策と位置付けて実施されていることに対して評価する回答が見られた。

設問5.【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は84.7%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計は3.0%であった。前回アンケートでは、「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は82.3%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合3.8%であったことから、評価としては意欲的な参加の割合が上昇していることがわかる。

○学科別では、肯定的回答は、経済学科83.0%、公共政策学科86.7%、スポーツ経営学科85.4%、情報メディア学科85.0%、看護学科85.1%で、否定的回答は、経済学科2.7%、公共政策学科1.4%、スポーツ経営学科2.7%、情報メディア学科3.1%、看護学科5.3%である。

○記述回答からは、「授業内で使われるレジュメや先生の説明がとても分かりやすく、意欲的に受けたいと思う講義内容だったので、とても勉強になった」「映像の視聴等からリアルタイムに起きている事象を理解しながら学ぶことが出来た」「ただ聞くだけでなく、穴埋め式の資料のため、集中して講義に参加することができた」といった感想が見られる。動画や穴埋め式資料については前回同様に高評価の傾向がある。

設問6.【授業内容がどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は80.6%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計5.4%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は77.6%、また「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計は5.9%）と比較すると、理解度に応じた授業の改善がはかられていることが読み取れる。

○ただし、学科別では、肯定的回答の割合は、経済学科80.2%、公共政策学科81.1%、スポーツ経営学科81.8%、情報メディア学科81.5%、看護学科73.7%であり、否定的回答の割合が、経済学科3.7%、公共政策学科4.5%、スポーツ経営学科4.6%、情報メディア学科4.4%、看護学科13.6%であり、他の設問と比較して、学科間の数値の開きが見られる。

○記述回答からは、設問4と関連するが「理解の難しい箇所については前回の振り返りを行い、かつ補足資料を用いて説明してくれた」「授業終わりに毎回の課題に取り組むことで、

理解できているか確認出来るところが良い」等の感想が見られた。受講期間を通じて、学生自身が理解していることと理解出来ていないことを都度確認する機会を得ることは、「講義で学んだことを復習していくことで、難しかった問題が解けるようになり、徐々に成長していることが点数として現れるようになったので、自信がついた」といった感想に見られるように、学修成果の実感となって現れると考えられる。

設問7. 【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合の合計は 79.1%であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合の合計 (4.5%) を上回っている。この設問についても、前回アンケートの結果(「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合の合計は 76.3%、「非常に不満」「やや不満」と回答した割合の合計は 5.4%) と比較して改善している。

○学科別では、肯定的回答は、経済学科 76.6%、公共政策学科 84.3%、スポーツ経営学科 80.2%、情報メディア学科 77.9%、看護学科 74.5%で、否定的回答は、経済学科 3.9%、公共政策学科 2.2%、スポーツ経営学科 4.1%、情報メディア学科 3.7%、看護学科 9.8% である。

○記述回答からは、例年同様に具体的な授業内容に即した肯定的感想が挙げられているほか、授業方法や学生への対応に関する肯定的な感想が多数挙げられている。「具体的で丁寧な説明があることで、スキルを修得することを実感できた」「少人数の講義だったので、個別の進行状況に合わせて説明やアドバイスを受けることが出来た」「ひとりひとり丁寧に添削や修正をしてくださったおかげで安心して取り組むことが出来た」「毎回、授業の初めに、前回の授業について振り返りながら、学生からの質問や意見に丁寧に答えてくださる時間があるのが本当に良かった」等、各学生の理解度や習熟度に応じたフィードバックやアドバイスの機会があることへの感想が目立った。

設問8. 【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1時間以上」「30分～1時間程度」「30分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 65.2%であり、他方「ほとんどしない」と回答した割合は 34.8%であった。前回アンケートの結果(「1時間以上」「30分～1時間程度」「30分未満」と回答した割合の合計は 62.8%、他方「ほとんどしない」と回答した割合は 37.2%) と比較して改善がみられるものの、依然として予習復習を「ほとんどしない」と回答した割合が 1/3 を占めていることから、シラバスに応じた時間外学習時間の確保について検討することが必要である。

○なお、学科別の「ほとんどしない」と回答した割合は、経済学科 28.6%、公共政策学科 32.7%、スポーツ経営学科 40.9%、情報メディア学科 32.7%、看護学科 22.1%となっている。

設問9. 【授業を受けて、内容に興味・関心をもてるようになったか】

○「大いに持てる」「持てる」と回答した割合は 75.9%、「全く持てない」「あまり持てない」と回答した割合は 5.4%であった。前回アンケートでは「大いに持てる」「持てる」と回答した割合は 73.0%、「全く持てない」「あまり持てない」と回答した割合は 6.8%であったことから、数値の改善がみられる。

○学科別では、肯定的回答は、経済学科 74.7%、公共政策学科 79.9%、スポーツ経営学科 75.9%、情報メディア学科 76.5%、看護学科 72.1%で、否定的回答は、経済学科 5.5%、公共政策学科 2.9%、スポーツ経営学科 5.9%、情報メディア学科 3.7%、看護学科 8.8%である。

○記述回答からは、「自分たちに関わる事例をとりあげていたため興味を持って受講できた」「実例に基づいて解説してくれるので授業を受けていて理解しやすく面白かった」「社会に出てから役に立つと実感しながら授業を受けられた」等、学生に身近な内容を授業に取り入れ、経験談等を授業内容の中に盛り込むことによって、学生の能動性や興味・関心を引き出していることについての肯定的な意見が目立った。

設問 10.【この授業で大変良かったと思われる点】(抜粋)

- ・毎週の小テストを通じて、自分の得意分野や苦手分野を理解することが出来る点良かった。
- ・小テストの振り返りがとても丁寧だった。
- ・クイズなどが出されて自分で考える時間が多く設けられていったのがよかった。
- ・授業の最後に自分でプリントにまとめる時間があり、そのプリントを復習等に利用することが出来た。
- ・ひとりひとりに寄り添って授業が進められた。
- ・体調不良で休んだ際に、前回の振り返りによるフォローや資料の確認等をしてくれることで、不安なく授業を受けられた。
- ・勉強方法について相談した際に、親身になって話を聞いてもらえてとても嬉しかった。
- ・資料の作成方法から発表まで、一連の流れで学ぶことが出来た。他の授業でも活かせると思うので良かった。
- ・論文の書き方について丁寧に教えていただいた。今後も他の場面で活かすことが出来ると思う。
- ・学生の自主性を尊重しながら、必要なサポートをしていただけた。
- ・具体的な解決法を教えてくれる。
- ・動画が面白くて分かりやすく、興味を持つことが出来た。
- ・動画で事前に予習が出来るので、講義における作業が捗った。
- ・レジュメがとても分かりやすく、復習やテスト前に使いやすかった。
- ・授業資料が Teams に残されており、後から見返すことが出来てよかった。
- ・他の受講生のレポートの紹介を通じて、他の学生の意見や視点を知ることが出来た。
- ・ペアワークやグループワーク等の受講生同士のセッションがあることで、相互に意見を伝えあい理解し合う機会があり、ためになった。
- ・グループワークを通じて、自分たちで考える力を育むことができたし、チームで仕事をしていくことの大切さや難しさがわかった。
- ・ひとりひとりが自分の意見を発言できる機会があって、自分とは違う考えを聞いて学ぶことが出来た。
- ・授業のおかげで本を読む習慣がついた。本に興味を持つことが出来るようになった。
- ・社会に出てから役に立つような、実践で使える情報を交えながら授業内容を説明してく

ださったので、理解がしやすかった。

- ・事前に配布された文献に目を通してから実習に行くことによって、一定の実習前理解が出来、さらに実習後のグループワークを通じた学びの共有から、実習の経験以上の理解を深めることができた。
- ・先生の経験談を聞いたり、ゲスト講師の話聞くことで、視野を広げたり、関心を深めることが出来た。等

設問 11. 【この授業で工夫・改善してほしい点】(抜粋)

- ・教授ばかり話していると居眠りをする学生が出てくるので、受講生に問いかけて発言させる機会があると良い。
- ・受講生の発言の機会があるのは良いが、前列の学生や決まった学生が当てられる傾向がある。後ろの方も当ててほしい。
- ・ペアワークやグループワークの効果は、同じグループになる学生のやる気や態度に左右されることがあるので、グループ分け等については配慮してほしい。
- ・豊富な資料はありがたいが、情報が多いため、理解を深めるためのポイントを示してほしい。特にテストに向けて重要なポイントは教えていただきたい。
- ・図や写真、動画などがあると分かりやすいので、もっと活用してほしい。
- ・話すスピードが速いせいか、十分な理解ができないままに授業に参加していることがあったので、受講生の理解を確認してほしい。
- ・課題について時間を取って説明してほしい。内容や記入方法について詳しい説明がほしかった。
- ・小テストや課題を実施した際に、模範解答がある場合にはそれを示してほしい。正しく理解できているか確認して復習したい。
- ・Chat GPT を利用して回答できてしまうような課題の出し方をしないでほしい。
- ・授業の開始が遅くなることがあるので、時間通りにはじめてほしい。
- ・補講が多かった。補講は通常の時間割とは異なる曜日時限に補講日が設定されることから、予定が組みにくい。補講は対面授業以外の方法でも実施してほしい。等

以 上